



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和7年6月20日

第58号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

学校と地域が熟議を通して目指す子ども像を共有

～えべつ型コミュニティ・スクール…学校運営委員会～

「つなぎ つむぐ」第56号、第57号でも紹介しました通り、5月7日(水)の北光小CSを皮切りに、令和7年度の第1回目の学校運営委員会が各CSで開催されています。

委員会での主な協議内容は、委員長・副委員長の選出、令和7年度の学校経営方針及びグランドデザインの承認、小中一貫教育の「目指す子ども像」と取組、児童生徒の年度当初の活動の様子、学校支援ボランティアの活用の方針等となっており、議題を焦点化して熟議も行われています。

野幌若葉小CSでは、授業参観日に合わせて第1回学校運営委員会を開催し、酪農学園大と連携した農園活動等の授業を委員の方々に参観していただき、具体的な教育活動の様子を知っていただくように工夫をしていました。同じように、他のCSでも、学校運営委員の方々に学校運営の状況についての意見をいただくために、運動会や体育祭、学芸発表会、文化祭、参観日等の行事に参加していただき、子どもたちの姿を参観していただいています。



第一小CS 熟議の様子



授業を参観する野幌若葉小の委員の方々



上江別小CS 熟議の様子



大麻中CS 熟議の様子



いずみ野小CS 熟議の様子



文京台小CS 熟議の様子



大麻西小CS 委嘱状手交

令和7年度の本校の学校運営委員会の様子です。

クリックすると話し合いの内容が見られます。

第1回学校運営委員会 令和7年5月22日(木) 13:00～14:25 7名参加 場所：会議室



5/22(木) 第1回学校運営委員会

学校のホームページに掲載されているCSの情報
大麻西小CS→
←野幌若葉小CS

令和7年度 第1回 学校運営委員会

5月22日、本校校長室にて、えべつ型コミュニティ・スクール第1回学校運営委員会が開催されました。

最初に学校長から、学校経営方針や今年度の重点、大麻中学校の小中一貫教育についての説明を行うとともに、大型テレビに本校の学校ホームページを映し出し、4月からの子どもたちの活動の様子を共有した学校の取り組みについて説明を行いました。

その後、教頭からは、今年度の学校評価の進め方や評価項目、達成するための手立て等について説明し、ご意見をいただきました。

その後、委員の皆さんと熟議を交えた意見交換を行いました。たくさんのご意見、ごましの言葉をいただき、今後の学校運営に活かしてまいりたいと思います。

次回の開催は、9月11日(木)を予定しています。

【委員の皆さんからいただいた意見の一部を紹介】

- 子どもたちの一人一台端末の活用はどのような状況なのか。(※教頭より、子ども達の日常的な活用の様子や先生方による業務での活用について説明) これからの子どもたちは、ICTを使いこなしていかないと困る時代になっている。ぜひ次回、授業で子ども達が取り組んでいる様子を見せてもらいたい。
- 不審者が学校内に侵入する事件もあって、学校ではどのような対策を行っているのでしょうか。(※校長より、中学校区でも月に1回実施する不審者対応研修について、教頭より、危機管理マニュアルにおける教職員が行った不審者対応についての研修について説明) ぜひ、先生方だけでなく、先生方が他の対応ですぐに動けないときに、子ども達にもAEDがどこにあるのかや、緊急時に助けを呼ぶ方法なども伝えてもらえるとありがたい。

2つの中学校区が連携して子どもたちを育てる

～第一中学校区と第三中学校区の 小中一貫教育合同研修会～

第57号の野幌中学校区と同様に、他の中学校区でも小中一貫教育にかかわる全体会議や合同研修会等が開催されています。

第一中学校区と第三中学校区は、第一小が2つの中学校へ分散進学するため、「目指す子ども像」や「スタンダード」の共通化を図る等、昨年度から一緒に取組を進めてきました。今年度も、5月21日（水）に1回目の中学校区研修会を合同で開催し、教科部会と特別部会に分かれて熱心な協議を行いました。協議内容は右記のようになっており、どの部会も、子どもたちの姿を思い浮かべながら、建設的かつ有意義な話し合いが行われました。



「第一中学校区と第三中学校区合同の部会協議の様子」



第1回小中合同研修会において、どの部会においても積極的かつ建設的な話し合いがなされ、令和7年度の取組や方向性を確認する有意義な時間となりました。各部会で話し合われた内容をまとめましたので、ご確認ください。

【第1回合同研修会の交流内容】

部会	①交流内容	②第2回合同研修会向けにに向けての確認内容
国語	・小学校：ふりかえりの場面で ICT を活用する、全体交流のとき ICT の一貫性を活用する ・中学校：各単元で自分の意見を書く活動を設定する、定期テストで記述問題を出して定着度をみる	①各校で実際に取り組んだことの交流 (Canva など ICT の実践を含む) ②NRT 標準学力検査の結果交流
算数・数学	・四則計算についての各校における実践交流 ・重点項目について、小学校中学校共通である NRT などの結果を用いて検証 ・論理的に表現することについては、読解力が重要であること。読解力には言葉や文章の読解が必要、言葉を見るにはその必要性がない子どもは身につけにくい。そのため説明したりする力の育成には、まずそこからどう始めるのか課題である。	・取り組んできたことの検証ができる結果を持ち寄る
社会	「系統的な指導に関わる部分」について ・都道府県とその位置…3年前から小中から取り組んできたことにより、中学校での学習に生かされ、成果として表れてきていると感じる。⇒今後も継続的に指導していくことが大事。 ・都道府県の特徴について系統性を意識して指導する…年表を意識し、地図帳を活用するなど、地理学習・歴史学習に生かしていく。⇒今後も継続的に指導していくことが大事。	・各学校での効果的な ICT 活用について交流する。
理科	・重点単元 (状態変化、光・音、細胞・生殖・成長、天気) に入ったら、「スマイルネクスト」などを使って、小学校ではまだめを中学校では復習を行う。	・「スマイルネクスト」などを活用して、各校取り組んでみた様子の交流を行いたい。

「第一・第三中学校区 小中一貫だより NO.2」より抜粋

取組のフラッシュアップ！進化を続ける第二中学校区

～第1回小中ブロック研修会～

第二中学校区（第二小、第二中）は、小中一貫教育のモデル校区として、他の中学校区よりも1年早く小中一貫教育を本格実施しており、今年度で4年目の取組となっています。現在の中学1～3年生は小学校の時から小中一貫教育を経験してきた子どもたちです。そのため、目的や目標を明確にしつつ、子どもたちにこれまでの経験を発揮させることで教育活動をより充実させ、「目指す15歳の姿」の実現に迫っていくことを今年度の重点としています。そのスタートとして、小中の教職員が一堂に会し、今年度の取組について協議する研修会を開催しました。

今年度は、改訂した「サブ目標」を達成するために各種取組のフラッシュアップを図っていきます。

二中校区 これまでの経過



- H29～R3 小中連携 グランドデザイン(サブ目標)の設定
- R4 小中一貫教育モデル校区として実践スタート 教科部会を設定
- R5 小中一貫教育2年目 市内全域で一貫教育導入 系統表・年間計画の作成
- R6 小中一貫教育3年目 共同テーマでの校内研究 サブ目標の見直し
- R7 小中一貫教育4年目 各取組に具体的な目標を→GD見直しの検討

「第二中学校区第1回小中ブロック研修会資料」より抜粋

【保護者・地域版】

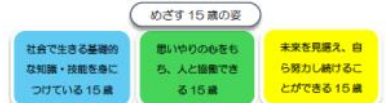


第二中学校区（第二小、第二中）では、令和4年度から小中一貫教育に取り組みました。今年で4年目となり、中学生全員が、小学生時に一貫教育の取組を経験した生徒となりました。子どもたちはこれまでの経験を生かし、教職員はこれまでの成果を深化させた一貫性・連続性のある教育活動を充実させ、子どもたちの成長と「目指す15歳の姿」の実現に向けて取り組んでいます。

保護者・地域の皆様には、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

めざす子ども像

義務教育9年間を経る15歳の姿を第二中学校区「小中一貫教育」のゴールとして位置づけています。



教育課程のつながり

校種間で連携し、教育課程のつながりを意識した教育活動に取り組んでいます。例えば、各種調査の結果を交流し、互いに児童生徒の良さや課題を把握して指導ができるようにしています。また、総合的な学習の時間では『共生～506's』を小中共通のテーマに設定して学習を進め、交流を図っています。さらに、小中の教員合同で作成した各教科の系統表を活用することで、より深いつながりがある教育課程を目指しています。

教員のつながり保護者・地域とのつながり

小中ブロック研修会や合同教科部会などを通して、小中一貫教育に関わる各業務の担当者同士が気軽に連絡を取り合って連携・協働できる関係づくりを目指しています。

【小中合同会議1回目】5月21日(水)実施

小中の教職員が、新年度新しいメンバーになって初めて顔を合わせる機会となりました。全体会では、二の中高橋校長から子どもを真ん中にしたより効果的な取組について、二の田中校長から9年間の話を子どもを育てる自走式の取組についての話がありました。分科会では、めざす姿を意識した具体的な取組についての話し合いが行われました。これらの活動を効果的に進めるための土台を作ることができました。



保護者・地域とのつながり

同年、保護者向けに「よくわかる江別二小・二中」という生活や学習のきまり・行事などを一覧にまとめたものを作成しています。小学校から中学校になって変わることも、変わらないことも確認することができます。

また、学校運営委員会は、江別第二中学校区の学校運営委員会として小中統一して実施しています。



「第二小中一貫教育通信第1号」より抜粋